

日印産連「グラビア印刷サービス（軟包装）」グリーン基準

一般社団法人日本印刷産業連合会

制定日 2003年 3月25日
 全面改定日 2007年 4月20日
 最新改定日 2013年 4月25日

項目	グリーン原則	グリーン基準	
購入資材	フィルム	①環境や健康に影響を及ぼす化学物質の使用に配慮している ・使用する用途に関連する法規及び業界の自主基準に適合すること ・ポリオレフィン等衛生協議会の自主基準に合致したフィルムを使用すること ・ポリ塩化ビニリデン製食品容器包装等に関する自主規制基準に合致するフィルムを使用すること	
	インキ、接着剤、溶剤	①環境や健康に影響を及ぼす物質の使用に配慮している ・印刷インキ工業連合会のNL規制に適合すること ・日本接着剤工業会のNL規制に適合すること ②PRTR指定化学物質を考慮している ・PRTR指定物質が特定されていること（MSDSが提供されている）	
	資材メーカーの取組み	①環境保全の仕組みを有し環境法規制を遵守している ・＜水準-1＞ ・環境マネジメントシステム(ISO14001等)を有していること ・＜水準-2＞ ・環境法規制を遵守していること ②環境負荷低減に計画的に取組んでいる ・＜水準-1＞ ・環境負荷削減計画を有し、計画的に実施していること ・＜水準-2＞ ・梱包材の削減・再利用、通い箱や共通パレット等の利用を促進していること ・リサイクル可能な包装資材の採用に取組んでいること ・配送車両のアイドリングストップ等に取組んでいること ③環境ラベルの認定に取組んでいる ・GPMマーク、エコマーク等環境ラベルの認定／表記製品を有していること	
工程	営業企画	①企画提案及び制作にあたっては環境配慮を行っている ・企画制作における環境配慮基準を設けていること ・環境配慮基準に該当する製品の提案比率が80%以上 ②印刷見本の作成にあたっては、省資源及び廃棄物の発生抑制を行っている ・印刷見本出力のデジタル化率50%以上	
	デザイン	デザインのデジタル化を推進し、省資源及び廃棄物の発生抑制を行っている ・デザイン作業のデジタル化率50%以上	
	製版（プリプレス）	プリプレス（版下作成）	①版下作成のデジタル化を推進し、温暖化防止、省資源及び廃棄物の発生抑制を行っている ・＜水準-1＞ ・版下作成作業のデジタル化率80%以上 ・＜水準-2＞ ・版下作成作業のデジタル化率50%以上 ②製版フィルムを使用する工程の場合、省資源及び廃棄物、VOCの発生抑制に取組んでいる ・環境配慮型フィルム現像システムを使用していること ・廃液及び製版フィルムから銀の回収等を行っていること
		シリンダー作成	①有害物質、廃棄物の発生抑制に取組んでいる ・化学薬品の取扱い及び廃液、排水の自主基準を設定して有害物等の排出の低減に努めていること ・PRTR指定物質を特定し管理していること（MSDSを備えている） ②温暖化防止、省資源に取組んでいる ・シリンダー素材（パラード銅等）のリサイクルを行っていること ・シリンダーのリユースに努めていること
	刷版	化学腐食法	①デジタル化（CTP化）を推進し、省資源及び廃棄物の発生抑制を行っている ・デジタル化率50%以上 ②有害物質、廃棄物の発生抑制に取組んでいる ・廃液、洗浄水、廃棄物のリサイクル、減量化を行っていること ・廃液、洗浄水等は自主基準を設定して有害物質の排出削減に努めていること
		彫刻法	①デジタル化（CTP化）を推進し、省資源及び廃棄物の発生抑制を行っている ・デジタル化率50%以上 ②有害物質、廃棄物の発生抑制に取組んでいる ・発生銅粉のリサイクルを行っていること
	仕上げ	①有害物質、廃棄物の発生抑制に取組んでいる ・化学薬品の取扱い及び廃液、排水の自主基準を設定して有害物等の排出の低減に努めていること ・PRTR指定物質を特定し管理していること（MSDSを備えている）	
	検査	①印刷工程のロス（廃棄物発生）を抑制している ・版の検査（目視、検査機、校正機等）により不良版の流出を低減していること	
	印刷	①VOC発生を抑制している ・VOCの発生抑制を推進するため、VOC排出量を把握していること ・インキ類の使用量、廃液量等を記録していること ・VOC排出量を把握していること ・印刷機からのVOC発生を抑制していること ・VOC排出処理装置を設置していること ・水溶性インキ等低VOCインキを使用し、VOC発生を抑制していること ・浅版化等により可能な限りインキ、溶剤の使用を抑制していること ・インキパン、タンク等ヘカパーを取り付けVOCの発生を抑制していること ・インキ缶、溶剤缶、廃ウエス容器等の蓋閉め等を実施しVOCの発生を抑制していること ・洗浄装置の導入や洗浄作業の標準化に取組みVOCの発生を抑制していること ・印刷機の環境負荷（エネルギー、騒音、振動等）を把握していること ・環境配慮型印刷機を導入していること ・インバータの採用、圧縮エアの集中管理、廃熱の利用など省エネ活動を行っていること ②印刷工程の温暖化防止、省資源、騒音・振動の抑制に取組んでいる	

項目		グリーン原則	グリーン基準	
工程	印刷	③廃棄物の排出抑制やリサイクル等を推進している	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の排出抑制を行っていること ・自動品質検査システムを導入し、不良品を削減していること ・校正機やDDCPの利用等により、本機校正の削減に努めていること ・CCM等の活用により、残肉の削減や廃インキの削減を行っていること ・廃棄物のリユースやリサイクルを推進していること ・廃フィルムのリサイクル(サーマルを含む)率80%以上 ・廃溶剤のリユースやリサイクルを行っていること ・レンタルウェスまたは再生ウェスを80%以上使用していること ・窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制に取り組んでいること ・建物への遮音材、吸音材施工、扉や窓の二重化や機械への防音カバー設置等により騒音抑制に取り組んでいること 	
		④周辺に対する騒音・振動などの抑制に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制に取り組んでいること ・建物への遮音材、吸音材施工、扉や窓の二重化や機械への防音カバー設置等により騒音抑制に取り組んでいること 	
	加工	ラミネート	①VOC発生を抑制している	<ul style="list-style-type: none"> ・VOCの発生抑制を推進するため、VOC排出量を把握していること ・接着剤類の使用量、廃液量等を記録していること ・VOC排出量を把握していること ・ラミネート機からのVOC発生を抑制していること ・VOC排出処理装置を設置していること ・水溶性型、ノンソルベント型、ハイソリッド型接着剤等を使用し、VOC発生を抑制していること ・塗工パン、タンク等へカバーを取り付けVOCの発生を抑制していること ・接着剤缶、溶剤缶、廃ウェス容器等の蓋閉め等を実施しVOCの発生を抑制していること ・洗浄作業の標準化に取組みVOCの発生を抑制していること ・ラミネート機の環境負荷(エネルギー、騒音、振動等)を把握していること ・環境配慮型ラミネート機を導入していること
			②ラミネート機の温暖化防止、省資源、騒音・振動の抑制に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネート機の環境負荷(エネルギー、騒音、振動等)を把握していること ・環境配慮型ラミネート機を導入していること
			③廃棄物の排出抑制やリサイクル等を推進している	<ul style="list-style-type: none"> ・自動品質検査システムを導入し、不良品を削減していること ・廃棄物のリユースやリサイクルを推進していること ・廃フィルムのリサイクル(サーマルを含む)率が80%以上 ・廃樹脂のリユースやリサイクルを行っていること ・廃溶剤のリユースやリサイクルを行っていること
			④周辺に対する騒音・振動などの抑制に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制に取り組んでいること ・建物の遮音材、吸音材施工、扉や窓の二重化や機械への防音カバー設置等により騒音抑制に取り組んでいること
	スリット、製袋、抜き	①仕上げ加工工程の温暖化防止、省資源、騒音・振動、廃棄物の抑制に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・スリット機、製袋機等の環境負荷(エネルギー、騒音、振動等)を把握していること ・廃フィルムのリサイクル(サーマルを含む)率が80%以上 	
	デリバリー	梱包、構内運搬	①製品の包装・梱包材の削減・再利用に取り組んでいること	・簡易(クラフト)包装、通い箱、共通パレット等の利用を促進していること
			②工場内で発生する包装資材のリサイクルを行っている	<ul style="list-style-type: none"> <水準-1> ・段ボール、外装紙、巻き芯、プラキャップ等の包装資材のリサイクル率が80%以上 <水準-2> ・段ボール、外装紙、巻き芯、プラキャップ等の包装資材のリサイクル率が50%以上
			③構内運搬の騒音発生を抑制している	・フォークリフト、ハンドリフター等の騒音発生防止に取り組んでいること
納品	①運搬車両の環境負荷低減に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップを実施していること ・低公害車を50%以上導入していること ・輸送方法等、効率的な輸配送に取り組んでいること 		
事業者の取組み	環境関連法規の遵守	①公害防止、温暖化防止、省資源、化学物質の管理・削減、廃棄物の発生抑制・削減などの環境法規制を遵守している	<ul style="list-style-type: none"> <水準-1> ・環境法規制の違法チェックの仕組みをもち、維持していること <水準-2> ・環境法規制を遵守していること 	
	環境負荷低減の取組み	①温暖化防止など環境負荷低減のための目標をもち、改善活動を維持している	<ul style="list-style-type: none"> <水準-1> ・環境負荷(エネルギー、資源、廃棄物、化学物質、VOC、悪臭、大気、水質、騒音、振動等)の現状を把握し、削減する目標を設定し、目標管理の仕組みを持っていること <水準-2> ・事業所の電気、ガス、水道の使用量を把握していること ・空調機の温度管理や区域、時間管理などを実施していること ・照明の区分管理を実施していること ・廃棄物の分別を行い再資源化に取り組んでいること 	
	環境マネジメントシステムの構築	①環境保全活動の改善に取り組む仕組みを有している	<ul style="list-style-type: none"> <水準-1> ・環境マネジメントシステム(ISO14001等)を有していること <水準-2> ・環境方針や組織を設け、継続的に環境保全活動に取り組んでいること 	
	環境配慮製品の提供	①環境配慮製品の開発、製造やサービスに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <水準-1> ・環境配慮製品を積極的に企画・開発し、その実績を把握していること <水準-2> ・環境配慮製品の評価基準(日印産連グリーン基準等)を有していること 	
	環境情報の公開	①環境に関わる情報を公開している	・環境方針、環境保全の取組みを環境報告書、インターネット、カタログや社内等で外部利害関係者に公開していること	
	購入資機材への環境配慮	①環境に配慮した資機材の購入システムを持っている	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した資材や機械について購入方針を持って推進していること ・環境に配慮した資材や機械について購入実績を把握していること 	
	外部委託における環境配慮	①外部委託会社への発注条件として資材や工程の環境配慮を求めている	・外部委託会社の工程が本グリーン基準に準じていること	
	労働安全衛生への配慮	①事業所内の作業環境を管理している	・労働安全衛生管理や作業環境管理を行っていること	
	緊急時への対応	①地震、風水害、火災、震災、水害、停電等緊急時における対応が定められている	・緊急時における環境配慮を含む対応手順書を定めていること	